



## 怪談よりスリルある「海外ドラマ」

今年も、暑い夏真っ盛り。夏といえば怪談…などと連想する方も多いと思いますが、私はお化けのような超常現象は今ひとつピンと来ないタイプ。しかし今春ぐらいいから、怖〜い「あるもの」を見つけました。それは、「海外のサスペンスドラマ」です。

元々、サスペンス系ドラマや映画を見るのが好きで、ここ数年は日本の「相棒」や海外の「007」などを、定番のように観ていた私。しかし何度も再放送を観ていると、オチや犯人が分かってしまっているの、飽きてしまいます(笑)。そこで、何か面白いドラマはないかと探したところ、見つけたのが「LAW&ORDER」「クリミナルマインド」そして「メンタリスト」といった、海外ドラマでした。

これらは毎日のように海外ドラマの専門チャンネルで帯放送されており、基本的に日本の刑事ドラマ同様「一話完結」なのですが、その内容がひと味違う。海外ドラマは「シーズン」といって大体15話前後で1ブロックになっていまして、2010年に終了するまで最長の20シーズン(全456話)を記録したのが、「LAW&ORDER」です。まず私はこれを観て、それまで経験したことがない「前半は刑事もの、後半は法廷ドラマ」という早くてスリリングな展開に、一気に引き込まれてしまったのです。

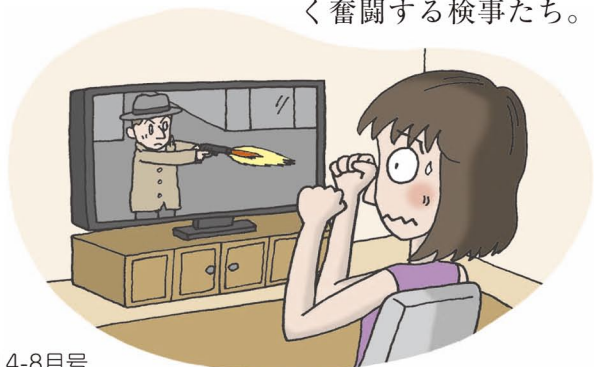
ニューヨークを舞台に、薄暗い画面の中人種や宗教、麻薬、時には権力腐敗など様々な社会問題をベースにした殺人や暴力が起こり、それを地道な捜査で解き明かしていく刑事と、有罪に持ち込むべく奮闘する検事たち。

実質50分弱の中で、それらがただ平たいストーリーで運ばれるのではなく、時にはラスト数十秒でどんでん返しが起こることもあり、本当に最後の最後まで目が離せません。さらに、見続けていくと刑事や検事の人間性にも愛着が湧くのです。

一方、人間の持つ恐ろしい狂気による連続殺人など、さらに怖いストーリーを観ることができるのが、「クリミナルマインド」です。FBIの「行動分析課」というチームが、犯人を「プロファイリング」することにより追いつめ、時には激しい銃撃戦やカーチェイスで捕らえたり射殺したりするのが、すごくスリリング。やはりFBIが扱うレベルですから、広域で殺人を繰り返すような優れた頭脳を持った犯人が多く出てくるのですが、例えばSNSに投稿された写真やデータを元にストーカーや殺人を行うなど、日常の中で実際に起こりそうな案件も多く、怪談よりもよっぽど「ゾゾーッ」としてしまいますね。

この他、全米視聴率ナンバー1を記録し現在も放送中の「メンタリスト」は、カリフォルニア州捜査局のアドバイザーである主人公が、相手の仕草や言葉などを緻密に観察して犯人を暴いていく…という、割とスマートな内容のドラマ。しかしその背後には主人公の家族を皆殺しにした恐ろしい連続殺人鬼との終わりのない闘いがあるなど、なかなか濃い展開が見どころとなっており、こちらも毎回楽しみとなっています。

こうしたドラマを観て思うのは、やっぱり一番恐ろしいのは「人間」なのだということです。これまで「お化けが殺人」などというニュースは一回も見聞きしたことはありませんが、人間による暴力や殺人は毎日起こっており、そうした側面をリアルに描いた海外のサスペンスドラマには、当分ハマってしまいそうな今日この頃。もし読者の皆様で、他にもおすすめの「怖〜い」ドラマがありましたら、ぜひ教えて下さい。



じんぼう・みか

法政大学卒業後、文具メーカー勤務を経て業界誌記者となり、1993年独立。取材記事、コラムなど連載。近著「パチンコ年代記」(パジリコ、07年)